



かたびらみやま

令和2年2月28日
京都市立鏡山小学校
(TEL581-2183)
(FAX581-2184)

12月実施 学校評価 結果報告

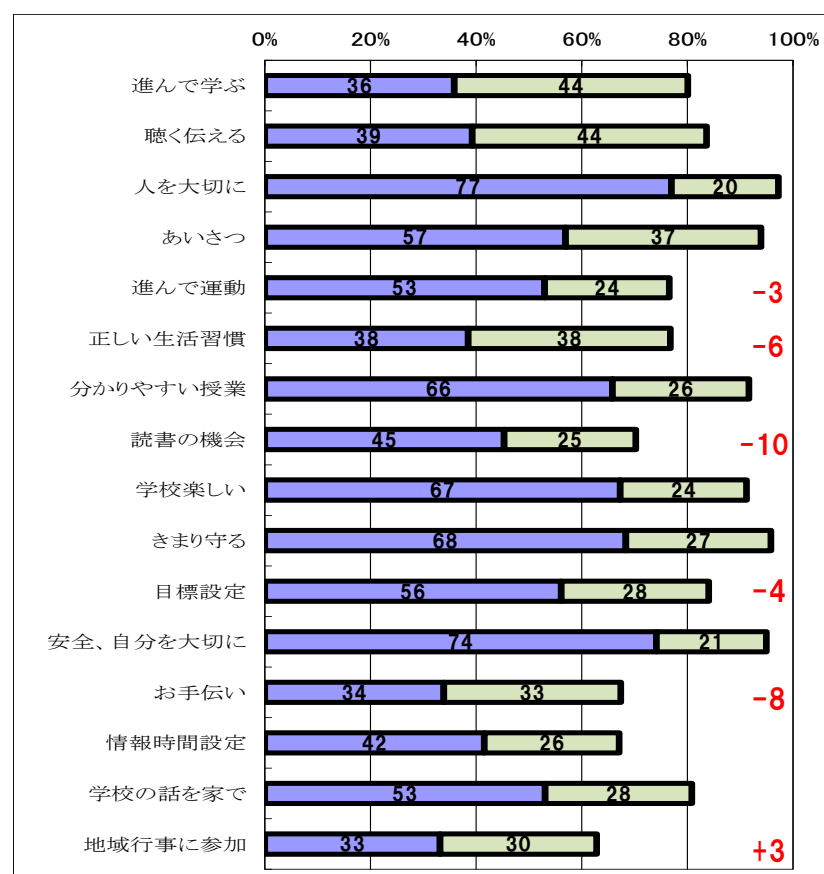
表の見方について

各項目左はし□ …できている（数字は％）

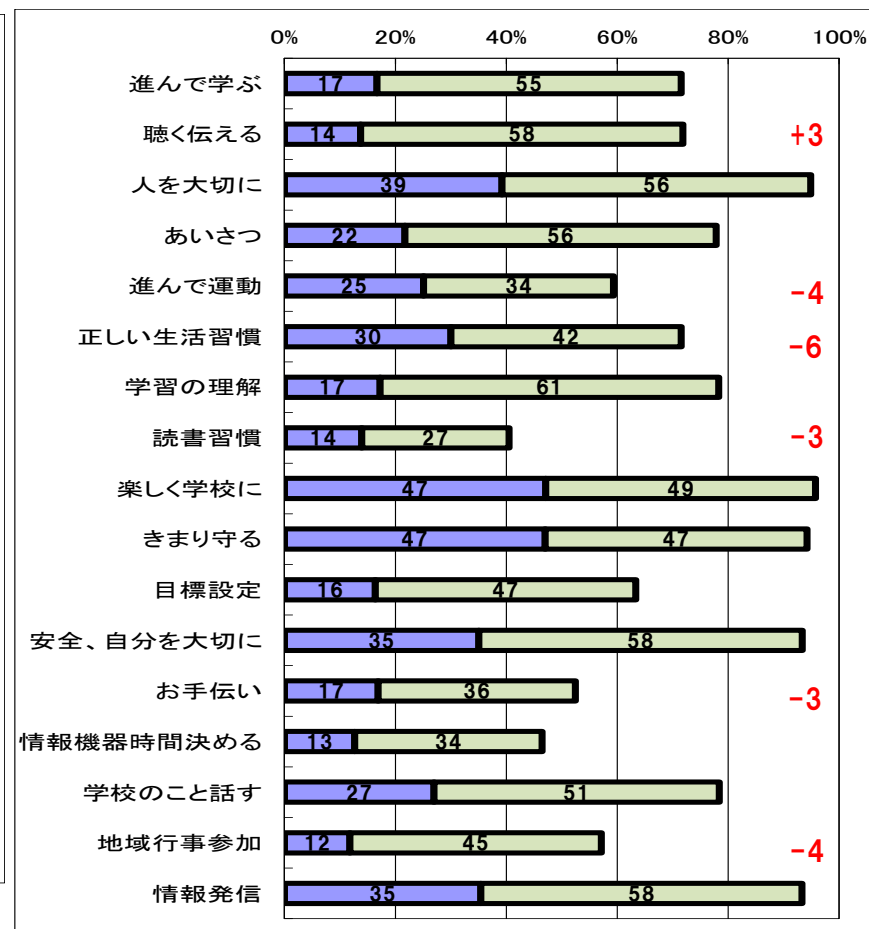
各項目左から2つ目□…だいたいできている（数字は％）

各項目右端数字…7月比で＋－3％以上のもの

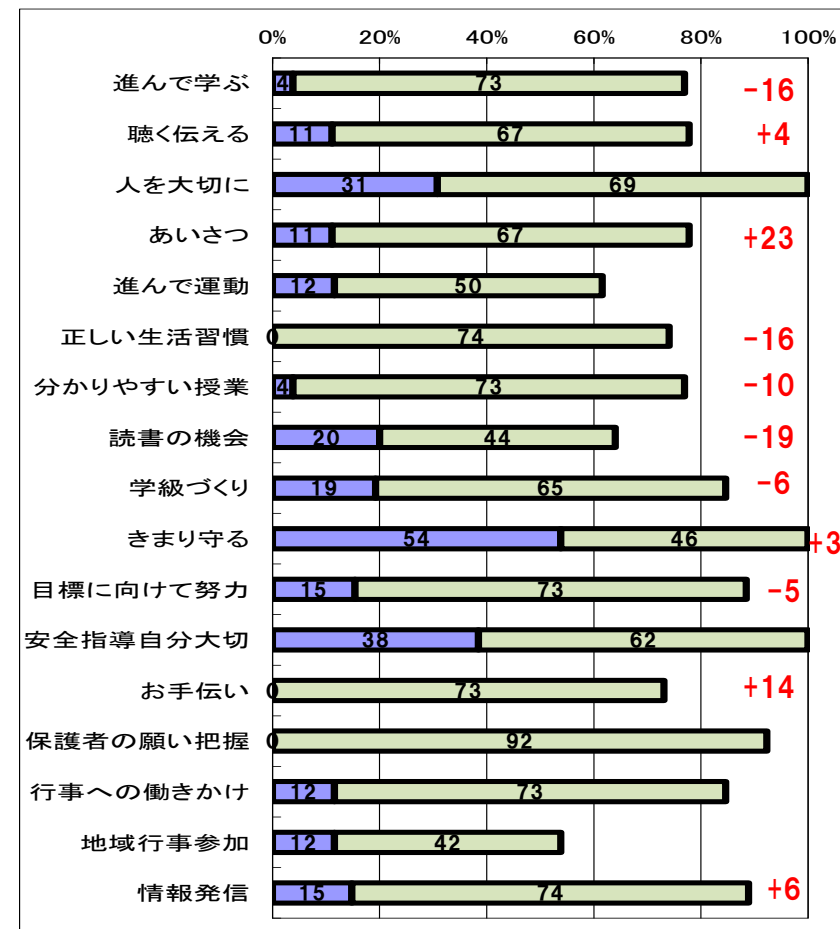
<児童>



<保護者>



<教職員>



アンケート結果より

<全体>

- 「学校が楽しい」の項目の数値が高く、多くの児童が楽しく学校に通えている。
- ▲ 全体的に数値が下がっている。
- 「お手伝い」と「情報機器の時間を決める」の実現度が低い。
- 「読書」と「進んで運動」の実現度が低下している。

<児童>

- 「地域行事への参加」の実現度が上がった(特に低中学年)。
- ▲ 「お手伝い」「読書習慣」がどの学年も下がっている(特に中高学年)。
- 「進んで運動」「正しい生活習慣」が低高学年を中心に下がっている。

<保護者>

- 「人・自分を大切に」「楽しく学校に」「きまりを守る」といったニーズ度が低く、子どもたちは良好な姿と言える。
- ▲ 「正しい生活習慣」「お手伝い」「進んで運動」「読書習慣」は家庭でもつききっていない。
- 特に「読書習慣」の実現度が一番低い。

<対策>

- ・「読書」については児童・保護者・教職員ともに数値が下がっていました。学校では朝の帯時間を読書活動の時間として設定したり、空いた時間は読書をするように声かけをしたりしていますが、じっくり本に親しむ時間を取りきれていません。学校としては読み聞かせサークル「クローバー」さんによる月2回の「よみきかせの会」への参加を働きかけたり、国語科の学習で並行読書に取り組んだりして、本との出会いを大切にする取組を進めていきたいと思ます。ぜひご家庭でも、本や新聞が身近にある環境づくりをしていただけたらと思います。
- ・「運動能力・運動習慣」は本校の課題ですが、7月に比べても実現度が下がっています。学校では体育学習を充実させたり、休み時間に教職員も運動場で子どもたちと遊んだり、体を動かす環境づくりに取り組んでいます。ただ、運動頻度の二極化も気にかかります。地域の公園での遊びも限られていますが、放課後や休みの日にも身体を動かす習慣が身についていくよう、ご協力をお願いします。
- ・「正しい生活習慣の確立」と「お手伝い」にも課題が見られます。学校でも保健指導や家庭での役割等の話をしています。ご家庭でも早寝・早起き・朝ごはんを基本とした規則正しい生活と、家庭での役割が定着するようお声かけと実践をよろしくをお願いします。